

災害ボランティアに登録されている方は、この訓練に参加いただけず。災害ボランティア活動に関心がある方は、地域支援課へご連絡ください。



災害ボランティアの説明

◎県外自治体との応援体制
大地震が発生すると、隣り合う自治体も一緒に被災します。東日本大震災を経験し、県を越えた広域での応援体制づくりが進められています。

本町では、平安末期に活躍した木曾義仲公を縁に富山県小矢部市・長野県木曾町と「災害時応援協定」を締結し、平時から交流を続けております。本年9月27日(日)に開催される小矢部市総合防災訓練では、本町も救援物資輸送訓練に参加する予定です。また、長野県木曾町は、嵐山まつりに物産展を出店するほか、木曾町への宿泊助成を行っております。

昨年9月の御嶽山噴火により観光業は深刻な状況とのことで、「皆さん、木曾町を応援しましょう!」

長野県木曾町への宿泊料金を助成します。
(木曾町友好都市交流事業)
助成金額：1人1泊 2,000円
対象者：①嵐山町民
②嵐山町在勤者
③嵐山町在学者
④①～③を含むグループ
～何人でも 何泊でも 何度でも～
問合せ 企業支援課 電話 62-0720
嵐山町観光協会 電話 81-4511
<http://www.town.raman.saitama.jp/000001673.html>

◎災害協力井戸の創設

大地震が発生すると、直後の水道断水は避けられません。飲み水は備蓄や応援で対処しますが、断水期間が長くなると生活用水(トイレ・洗濯・身体拭き)の確保が課題になります。

町内には、現在も数多くの井戸が残っています。そこで、長期の断水時に井戸水を生活用水として提供いただけるか調査し、約180の井戸を「災害協力井戸」として登録しました。あくまでも、生活用水に限定します。協力をいただける方は、地域支援課へご連絡ください。

災害協力井戸の家
井戸の家
災害協力井戸の家標札

七郷防災会を紹介!
地域の防災リーダー



七郷防災会 飯嶋事務局長

東日本大震災では、行政の限界を目的にしました。町は、それまでの「公助」から「共助」へと完全に移行し、地域での助け合いを最も重視した防災行政に取り組んでいます。そこで、今回の防災特集では、嵐山町で最初に立ち上がった七郷防災会の水戸会長と飯嶋事務局長にお話を伺いました。

水戸会長 七郷防災会は、嵐山町で最初の防災会であり、災害に対して地域・近隣で協力しあえる組織を目的とし、平成20年7月に設立しました。旧七郷村(7つの大字)で構成され、各地区の区長などが役員となっています。事業としては、防災訓練、視察研修、7つある防災倉庫の資機材点検など防災意識を高め、災害時に対応・行動できるように取り組んでいます。私は、平成23年に初代の吉嶋

◎福祉避難所の指定
避難所生活において、要介護高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、病弱者など特別な配慮を要する人とその介助者のための避難所を「福祉避難所」といいます。あらかじめ町と民間施設が協定を締結することで指定されます。

現在、本町では3つの施設を指定しています。

- ・嵐山郷(要配慮者全般)
- ・嵐山学園(18歳以下の方)
- ・らんさん苑(高齢者の方)

自宅 → 避難 → 指定避難所 → 福祉避難所 → 移動

指定避難所: 介助者の有無、身体状況、障がいの種類・程度などを考慮して優先順位を決定

福祉避難所: 身体状況に応じた福祉避難所へ移動

自宅: 身の安全の確保を優先

会長からバトンを譲り受け、現在5年目になります。飯嶋さんには、平成22年から事務局長を務めていただいています。

Q どんな防災訓練をしていますか?
飯嶋事務局長 設立当初は七郷地区全体で訓練をしていました。しかし、大震災後の平成23年からは、より地域に寄り添った訓練ができるよう地区を限定して行っています。一昨年は、杉山地区を対象に、初めて玉ノ岡中学校の生徒80名にも参加してもらいました。もし昼間に災害が起きたら地元にいるのは高齢者が多い…。若い大人は働いているし…。「中学生」は絶対に力(防災力)になるといつも思っていました。中学校に頼みに行ったら快く承諾してくれてとても嬉しかったです。

水戸会長 中学生には、ケガ人をリヤカーで搬送すること、地域の方と一緒に初期消火や応急手当などをしてもらいました。
飯嶋事務局長 「中学生って凄いやね。」防災会の役員が炊き出しをしていたら「やっていい?」って聞いてきたのでやり方を説明して手伝ってもらいました。中学生の力が必要だと思っていただけれど、自主的に声を掛けてもらったときは、本当に感激しました。

Q 日ごろの活動で重視していることは?
水戸会長 七郷防災会では、「避難すること」を重視しています。もしものとき、隣近所を良く知っている班長が班内の安全確認をして、防災会に報告してもらおう流れになっています。そのために、高齢者をはじめとする要配慮者の把握も班で行っていて、防災訓練でも、避難訓練に最も力を注いでいます。

Q 防災訓練以外にはどんな活動をしていますか?
飯嶋事務局長 防災会として、全世帯(856世帯)と七郷小学校へ昨年は乾パンを、今年は乾燥かゆを配布します。防災食を実際に食べてみることは重要です。その他にも、簡易トイレ(ペーパードレッサー)を各世帯で備蓄してもらおうように、希望を募って販売しました。

Q 今まで一番苦労したことは何ですか?
水戸会長 どうすれば防災と向

野球部の生徒が負傷者をリヤカーで搬送し救急隊へ引き渡し

「やってもいい?」自主的に手伝ってくれた中学生

地震体験車がリニューアルされました
地震体験車「比企ナマズ号」

比企広域消防本部では、地震体験車を3月16日にリニューアルしました。

この地震体験車は、高性能モーターと最新の起動装置により、リアルな模擬地震を再現できるほか、効果音を用いた臨場感あふれる体験ができます。

東日本大震災をはじめ、7つの地震を再現できるほか、震度別(最大震度7)にも対応しています。

地域や学校、事業所の消防訓練などで利用できます。

※要予約(3ヶ月前から)
問合せ 小川消防署嵐山分署 電話 62-3890

知っていますか 震度

テレビのテロップなどで表示される本町の震度は、嵐山町役場に設置されている地震計の数値です。揺れを感じたら震度を測定し、瞬時に気象庁へ伝達しています。その後、嵐山町の震度としてテレビのテロップなどで表示されます。

震度	計測震度
1	0.5以上1.5未満
2	1.5以上2.5未満
3	2.5以上3.5未満
4	3.5以上4.5未満
5弱	4.5以上5.0未満
5強	5.0以上5.5未満
6弱	5.5以上6.0未満
6強	6.0以上6.5未満
7	6.5以上

【参考】
東日本大震災時の嵐山町役場の地震計は「計測震度4.5」→「震度5弱」でした。

問合せ 地域支援課 人権・安全安心担当 電話 62-12152

「忘災」から「防災」へ
七郷防災会 水戸会長

き合ってもらえるか、これが一番苦労しました。七郷地区は農村地で、災害を身近に感じていなかったのかもしれない…。でも、東日本大震災では、七郷地区でも瓦がかなり落ちました。防災会で地域を見て回って被害を町に報告したり、町から支給されたブルーシートを被災者に配布しました。大震災で意識が変わったと感じています。

Q 今後、どんな活動をしていきたいですか?
飯嶋事務局長 毎年、防災訓練を行っています。全町同じ内容ではなく、ニーズに合わせてアレンジした訓練をしていきたいです。地震、竜巻、水害などの自然災害は何時くるかわからないですからね。

災害時の備蓄に対しても、もっと意識を高めてほしいですね。自分の命は自分で守る。備蓄品をずっと保存しておくのではなく、普段から食べているものを多めに買って、消費しながら備蓄する(ローリングストック法)方法が良いと思います。

水戸会長 七郷地区には、らんさん苑や嵐山郷があり、土建業や医療関係の従事者も多いです。アマチュア無線などの特技を持った方もいて、そのような方(特に医療関係者)を把握する必要があります。[50]

このとき、被災者と一緒に泣いて流した汗と涙が水戸会長の原点であるそうです。

東日本大震災から4年半が経過し、テレビなどメディアでも時間とともに放送が希薄となり「忘災」となりつつあります。

水戸会長との話の中で、防災への熱い思いのルーツが分かりました。それは、会長が2つの震災を体験したことでした。

阪神淡路大震災のとき、被災した神戸の取引先を支援するため、被災地に1ヶ月間入って、復旧作業を手伝いました。食べ物や生活物資が不足し、見るに耐えない状況だったそうです。

また、新潟中越地震のときは、ちょうど新潟へ単身赴任中であり「何かお手伝いできることはないか?」と被災した取引先を回ったそうです。